

## 両津病院WLBニュース



Vol.33

2018年1月31日

発行  
両津病院WLB  
推進PTチーム



## 今年も「看護師就職応援キャンペーン2019」に出展！

54病院等と1施設が出展する新潟日報社主催の『看護師就職応援キャンペーン』が、朱鷺メッセを会場に開催されます。両津病院は4年連続4回目の出展となり、結構な古株となりました。

今年は、両津病院の取り組みに触発されたのか、佐渡市健康推進室の呼びかけにより「チーム佐渡ヶ島」も初参加することが決まり、佐渡全体の底上げが図られていくのではないかと期待をしています。

「寒くない様に入口から離れた目立つ場所で、なおかつ周りにゆったりとしたスペースがある…etc.」などという無理難題を突きつけられて抽選に望みましたが、要望どおり会場のほぼ中央部のNo.4 1ブースを引き当てました。

看護部から金子師長、中野亜希さん、高橋亜佳里さんの3名が選ばれ、ブースで両津病院のPRを行います。新潟で知り合いの看護師さんがいましたら是非ともお声がけください。また、皆様もふるって足を運んでください。

折りしも新潟、佐渡を舞台とした映画「ミッドナイト・バス」も公開中ですので、鑑賞ついでにお立ち寄りください。

■ご案内■ 2月12日（月振休）9時～14時 朱鷺メッセ 2Fスノーホール

## ◆両津病院 3年間の取り組みを発表します。

平成27年から取り組んだワーク・ライフ・バランス推進事業もラストスパートを迎えました。2月20日に新潟市において、3年間の取り組みと成果を病院職員や指導者を前にして発表することになりました。両津病院の取り組みは看護部だけの取り組みではなく、院長を先頭に病院全体で取り組んでいることが、ほかの追随を許さない特色であり、今回の発表ではその点を強調しつつ、具体的な成果と今後の活動について発表する予定です。

プロジェクトリーダーをつとめてきた石井看護師の発表にかかっています、一段と好評価をいただけるものと期待をしつつ、臨んできます。

このWLBの取り組みは、仕事と家庭を両立させることが主な目的であり、達成できることが大きな成果といえますが、さらにWLB推進事業にしっかりと取り組んだ施設に贈られる『カンゴザウルス賞』を受賞して有終の美を飾りたいと思います。



『教えて石塚特別執行委員』第17回目 今回は「年次有給休暇制度について」

有給休暇は、「職員の心身の疲労を回復させ、労働力の維持培養を図ることを目的」とし、自由に使える休暇です。原則、職員の請求する時季に取得できますが公務の正常な運営を妨げる場合においては、使用者がその時季を変更できる権限（時季変更権）があります。

日数は、1月からの1年間で20日付与され、使用しなかった日数は20日を限度に翌年に繰り越されます。休暇の単位は1日又は半日ですが、特に必要があると認められるときは1時間を単位とすることが出来ます。時間単位で取得できることは、一般的ではないようですので、佐渡市は手厚い運用をしています。

「お互いさま」の気持ちで、休暇を取得しやすい職場の雰囲気づくりも大切にしていきたいと思います。